

P.U.P. News



発行元：進路指導部

模擬試験後の見直しを！

高校生のみなさん、10月29日(木)に行われた進研総合学力テスト(高1・2生)、ベネッセ駿台記述模試(高3生)の自己採点結果はいかがでしたか。解答解説での見直しは終わりましたか。

模擬試験や英検・漢検など各種試験を受けた後に、最も大切なのは、「出来」「不出来」という結果以上に、必ず「見直しをすること」ができるかどうかです。このことは、高校生であるみなさんには、いわずもがな、の必須条件ですが、あなたはそれを徹底して出来る生徒でしょうか。

例えば、英語なら

- 解いた長文の見直しは必ずすること。
- 答え合わせ
- ↓
- 語句暗記&精読(文のしくみを把握しながら日本語訳と照らし合わせ)
- ↓
- 音読(文のしくみの再確認[左から右にスラスラ読めるか]
&語句チェック&リスニング対策)

というふうにすることです。どの教科にも当てはまるとは思いますが、要は、見直し後の暗記と音読が大切です。ですから、暗記の方法も知らねばなりません。暗記をするために必要なのは、時間よりも回数です。そして声に出して確認します。特に英語などは音読するほうが絶対に効果があります。同じところを必ず何度も点検し、それを覚えたら次の範囲に進む。こうしているうちに、脳に定着した量、つまり、はめこまれたピースの数が増えていくのです。

さらに、試験後は出た結果に一喜一憂しすぎず、常に次へのステップにつなげるよう意識しましょう。もちろん、定期試験後の見直しはいうまでもありません。(進路模擬試験担当)

センター試験まであと70日



2016(平成28)年度のセンター試験は、すべての教科で新課程に対応した出題となります。大学入試センターより発表された実施要項から、2016年度のセンター試験の時間割と注意すべきポイントを紹介します！(以下、Benesse マナビジョン TOPICS より)

試験日	試験教科・科目	配点	試験時間	
1日目 1月16日(金)	地理歴史	『世界史A』 『世界史B』 『日本史A』 『日本史B』 『地理A』 『地理B』	【1科目選択】 100点	【2科目選択】 9:30~11:40 (130分) ※1
	公民	『地理A』 『地理B』 『現代社会』 『倫理』 『政治・経済』 『倫理、政治・経済』	【2科目選択】 200点	【1科目選択】 10:40~11:40 (60分)
	国語	『国語』	200点	13:00~14:20 (80分)
	外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	【筆記】 200点 【リスニング】 ※英語のみ 50点	【筆記】 15:10~16:30 (80分) 【リスニング】 ※英語のみ 17:10~18:10 (60分) ※2

試験日	試験教科・科目		配点	試験時間
2日目 1月17日(土)	理 科(1)	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	【2科目選択】 100点	9:30~10:30 (60分) ※3
	数 学(1)	「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	100点	11:20~12:20 (60分)
	数 学(2)	「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	100点	13:40~14:40 (60分)
	理 科(2)	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	【1科目選択】 100点 【2科目選択】 200点	【2科目選択】 15:30~17:40 (130分) ※1 【1科目選択】 16:40~17:40 (60分)

※1 解答時間は各60分で、第1解答科目(1科目めのこと)と第2解答科目(2科目めのこと)の間に、答案回収などを行う10分間を加え、試験時間は130分となっている。 ※2 音声問題を30分で解答するが、ICプレーヤーの作動確認などを受験者本人が行う時間に加え、試験時間は60分となっている。 ※3 理科のグループ(1)については、1科目のみの受験は認められていない。

Point 1 理科は4つのパターンから選択

理科を受験する場合は、A(基礎2科目受験)、B(専門1科目受験)、C(基礎2科目+専門1科目受験)、D(専門2科目受験)の4パターンの中からいずれかを選択する。詳細は各大学で異なるものの、概して言えば、国公立大の文系学部ではAのパターン(またはBのパターン)、国公立大の理系学部ではDのパターンを課す大学が多い。志望する大学の入試科目に沿ったパターンを選択しよう。

※ここでは、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のことを基礎科目、「物理」「化学」「生物」「地学」のことを専門科目と表記しています。

📌 2016年度 センター試験「理科」の出題科目の選択方法

受験パターン		相当単位数
A	基礎2科目受験	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4科目から2科目を選択 4単位
B	専門1科目受験	「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から1科目を選択 4単位
C	基礎2科目 + 専門1科目受験	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4科目から2科目、並びに「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から1科目を選択 8単位
D	専門2科目受験	「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から2科目を選択 8単位

Point 2 「2科目受験」の注意点

地理歴史・公民、並びに理科(2)において、2科目を受験する場合、(受験者本人の解答順に)前半60分で解答する科目を「第1解答科目」、後半60分で解答する科目を「第2解答科目」と呼んでいる。1科目の成績のみを合否判定に利用する大学で2科目選択して受験した場合、合否判定では、第1解答科目の成績を利用する大学と、高得点の科目の成績を利用する大学がある。集中力の面からも、本命(得意)とする科目は第1解答科目で受験するようにしよう。(以上、Benesse マナビジョン TOPICS より)

あと2か月と少しにまで迫ったセンター試験について、高1・2年生のためにも参考となるポイントを示しています。また、中学生への進路通信今月号には、「社会科の勉強法」が載っています。科目選択とその勉強方法の参考にしてほしいと思います。



(進路通信担当より)